

普及活動情勢報告（平成27年4月分）

中央西農業振興センター 高知農業改良普及所

春を告げる筍の出荷が始まります ～七ツ漕筍加工組合 筍目慣らし会～



出荷規格を確認し合う生産者

4月3日、高知市七ツ漕において筍の目慣らし会が開催され、出荷する筍の大きさや調整方法等について生産者同士で確認を行いました。普及所からは、将来新たな筍を産ますために残す「親竹」の選び方などについて助言を行いました。

七ツ漕地区では、地区の基幹品目である、筍の出荷・調整作業を共同化して行っており、筍のほか集落営農の取り組みも行っています。普及所では、これらの取り組みについて、引き続き支援していきます。

高知の花グロリオサの品質向上のために ～J A高知市三里園芸部花卉部会～



圃場で情報交換する生産者

4月10日、J A高知市三里園芸部花卉部会が高知市仁井田で高知県を代表する花、グロリオサの現地検討会を開催しました。前半は、高品質な栽培する生産者の圃場で、後半は、出荷場で栽培ステージごとの管理ポイントを情報交換しました。普及所からは、無加温栽培圃場の温度・湿度データをもとに、定植直後の温度管理の重要性など高品質栽培のヒントを提示しました。

今後も、現地検討会を行い、全国一の産地としての品質向上のための取り組みを支援していきます。

今後もおいしい加工品を作っていきます ～J A高知市「なるクラブ」～



知恵を出し合うクラブ員達

4月21日、J A高知市女性部加工組織「なるクラブ」のチーム会を開催しました。「なるクラブ」は高知県産業振興推進総合支援事業で改修された加工場を活用して、直販所にお弁当やお惣菜を出荷しています。チーム会では販売実績を分析し売り上げ増加のための今後の取り組みを検討しました。普及所からは、POSデータをもとに問題点を分析し、改善策をクラブ員から引き出しています。今回は、季節観のあるメニューを増やし、そのメニューを季節より先取り製造することで売り上げアップを目指すことが話し合われました。

これからも、加工場の有効利用のため、午後の製造メニューの試作など提案していきます。